

木田おりべの
令和7年第1回
定例会での
一般質問について

※詳しくは裏面をご覧ください。

- 1 板橋区行政としてのドローンの保有とその運用について
- 2 災害時居住支援について
- 3 区内民有地への不法投棄対策支援について
- 4 前谷津川緑道の補修について など

幸せを感じる街 板橋をつくる。

自民党

木田おりべ

板橋区議会議員

区民環境委員会(委員)

災害対策調査特別委員会(委員)

防衛大卒元航空自衛官
2児の父

【私の志】

「事に臨んでは危険を顧みず、身をもって責務の完遂に務め、もって国民の負託にこたえることを誓います。」と自衛隊入隊の際に宣誓しました。今はその思いを、ご縁をいただいたここ板橋区のために誓います。自衛隊入隊は、歴史と伝統ある美しい日本を守りたいという一心からでした。そして、より大きな視点から日本のために尽くすべく、約13年間勤めた航空自衛隊を退官し、下村博文事務所の門を叩きました。現在は板橋区議会議員1期生として、皆さんからのご負託と議員の重責を胸に区議会で活動しています。航空自衛隊で培った勇猛果敢な精神で区議会に臨み、「幸せを感じる街 板橋をつくる。」それが私の志です。

木田織部 [経歴]

つよく、やさしく、まっすぐに。

- 昭和56年6月3日岩手県生まれ、岡山県瀬戸内市育ち
- 岡山城東高校卒業後、新聞奨学生を経験
- 防衛大学校人文・社会科学専攻人間文化学科卒業(第51期)
- 航空自衛隊にて約13年間勤務(3等空佐(少佐相当)で退官) 弾道ミサイル防衛、防空、災害派遣、防災訓練などを担当
- 前衆議院議員下村博文秘書4年
- 家族に妻、長女(6歳)、長男(3歳)
- 好きな食べ物はラーメン、カレー
- 尊敬する人物は両親と妻
- 座右の銘 「深刻な時に深刻になっても状況は好転しない」
- 常任委員会 [区民環境委員会]
- 特別委員会 [災害対策調査特別委員会]
- 防災士



Action



蓮沼西町会さんの七草粥(がゆ)の会に出席。七草粥はとても美味しかったです。寿獅子舞もあり、私が舞う寿獅子舞との演出の違いについて大変参考になりました。



区民の方から、傷んだ歩道の補修と街路樹跡の埋め立てのご要望があり、区に処置していただきました。



子どもたちに地域の伝統文化を伝える区の「ふるさと文化伝承事業」が北野小学校であり、徳丸北野神社獅子舞保存会の獅子舞で大獅子を舞いました。これまで鑑賞型中心だったものを、私から体験型にシフトするよう区に要望し、児童の獅子頭などの体験が実現。



足立区役所にて「足立区ドローンパイロットチーム A.F.S.」を視察。足立区は行政としてドローンを保有しており、防災、土木、広報など、あらゆる業務でドローンを活用し、業務の安全性、迅速性、効率性を高めています。皆さんの安全安心のために、板橋区行政のドローン導入を求めています。



徳丸小学校での、働くことの意義を伝えるキャリア教育。学校支援地域本部の方から私にご要請いただき、自衛隊にご参加いただきました。自衛隊のほか、会場では複数の業態の方がご参加され、児童は働くことについて、様々なことを感じてくれたようです。



「新大宮バイパスの歩道橋をバイクで通行する人がいて危険」とのご相談を区民の方からいただきました。国の所管のため、下村博文事務所を通じて国土交通省万世橋出張所さんに「バイク進入禁止」の立て看板を設置していただきました。



放課後等デイサービス「ぬくあい」の皆さんとの地域の清掃活動。たばこの吸い殻が一番多かったです。ポイ捨てしない環境をつくるため、引き続き議会でも環境美化施策に取り組んでいきます。



「夜に暗闇になる私道があるため、そこに街灯を設置してほしい。」とのご要望を区民の方からいただきました。区へお繋ぎしたところ、ご要望者に様々な条件をクリアしていただき、区にLED街灯を設置していただきました。



陸上自衛隊第1普通科連隊さんが、首都直下地震を想定した都内行進訓練で板橋区役所にご来訪。大災害などの際、自衛隊連絡官の方が詰める区の防災センターをご確認いただきました。



赤塚第一中学校と紅梅小学校の卒業式において、板橋区議会を代表し、両校で祝辞を述べました。ご卒業、誠にありがとうございます。



木田おりべの令和7年第1回定例会での一般質問について



板橋区議会のウェブサイトで録画配信されています。
https://itabashi.gijiroku.com/g07_Video_View.asp?SrchID=1574
左のQRコードを読み取っていただくと、私の一般質問の様子をご視聴いただけます。



1 板橋区行政としてのドローンの保有とその運用について

木田 災害時の上空からの迅速な情報収集や避難誘導などに加え、広報や施設点検などでも活用できるドローンを板橋区行政が保有し、運用することを求める。

※足立区、品川区、渋谷区、世田谷区、台東区及び港区は、行政としてドローンを保有し、これを運用している。

区長 区民の安心・安全につながる災害対応への活用を最優先としつつ、様々な分野での活用も念頭に、ドローンの有用性や保有に向けた課題についての検討を進める。



2 災害時居住支援について

木田 住宅が被災した区民に対して、一時的な居住先確保に必要な家賃を補助するなど、災害時居住支援の取り組み拡充を求める。

区長 被災者がいち早く住宅の確保が出来るように、板橋区居住支援協議会と連携を強化し、居住支援の取り組みの拡充について検討していく。



3 区内民有地への不法投棄対策支援について

木田 区内民有地へ不法投棄された粗大ごみを区が無料で回収・処分するなどし、不法投棄された側がその処分で金銭的負担を負わないよう、区内民有地への不法投棄対策支援を進めるべき。

区長 廃棄物の適正な排出の啓発・指導を進めるとともに、区内民有地への支援も含めた不法投棄の抑止の方法について、他自治体の情報を収集し、研究していく。



4 前谷津川(まえやつがわ)緑道の補修について

木田 ご高齢の方などがつまずいて転倒しがちな、徳丸五丁目から徳丸六丁目を中心とした前谷津川(まえやつがわ)緑道の補修を要望する。

区長 ご要望の区間については、順次段差解消や植え込みの改善を行うとともに、他の区間についても良好な歩行空間となるように点検・維持補修に努めていく。



5 東京シティ競馬事業に関する広報について

木田 東京シティ競馬が東京23区で運営され、その収益の一部からなる多額の配分金(近年は各年度6億円)を区政において活用しているが、その活用事例を伺うとともに、東京シティ競馬を23区で運営していることや、そこからの配分金を区政で活用している旨を区のウェブサイト上で公表してはいかかがか。

区長 配分金は小・中学校改修経費や防災対策経費に充当し、例えば防災無線などの防災センターの運営に活用している。競馬事業及び配分金活用の周知については、研究していく。



6 スポーツチームとの関わりについて

木田 区内22か所の区立体育施設の指定管理者が、あらゆるスポーツチームと連携した自主事業を行うよう区が後押しすべき。

区長 スポーツチームと連携したスポーツ振興に関する事業の実施についても、指定管理者と協議していきたい。



板橋区からのお知らせ



ハトへの
エサやり禁止
DO NOT FEED

公共の場でのハトへのエサやり禁止条例施行

区民等の良好な生活環境の確保などの観点から、公園などの公共の場におけるハトへのエサやりを禁止する「東京都板橋区ハト等への給餌による被害防止条例」施行は令和7年4月1日からです。区長によるエサやりをやめる指導・勧告・命令が段階的にあり、正当な理由なく命令にも従わない場合は、5万円以下の過料が科されます。公園などの公共の場において、ハトへのエサやりをしてはいけません。